

ここに注目!

富士見パノラマリゾート 産業
借入金に対する損失補償



五浦議員

富士見パノラマリゾートが事業を行うにつれて不足する資金を金融機関から調達する最高限度額金額4億円を損失補償するもの

これはすでに2億円を認めている。令和3年度にさらに2億円を追加4億円の債務負担行為を起すもの。当初の2億円についてはパノラマリゾートの運転資金と聞いている。今回の2億円は新型コロナウイルスによる経営悪化を産するもの。パノラマリゾートは令和元年度決算では14億3千万円の債務超過状態だが、銀行等から借り入れが出来ない状況にあり、町が損失補償をするものです。返済出来ない場合は町の負担となります。

ここに注目!

上下水道行政の健全な運営の為に
上下水道



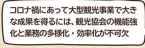
名取議員

町民の生活インフラを維持・管理していく事はまさに町の重大事業の一つである

上下水道は主要な水源に新たな浄水方式を採用し、より良い水質確保に努めるとともに老朽化した水道管の計画的更新や耐震化に努める。下水道は農業集落排水を公営下水道に統合し、自然流下方式を積極的に取り入れ、停滯時のリソース回復に努める。上下水道ともに、来年度は大幅な収入減が予測されており、厳しい状況である。今後の維持管理方法については、審議会と協議とともに広報等を通じて早めに町民の事情にお知らせしていく予定である。

ここに注目!

『観光協会支援対策事業』の今後
産業



牛山議員

コロナ禍にあって大型観光事業で大きな成果を得るには、観光協会の機能強化と業務の多様化・効率化が不可欠

緊急経済対策の一環として「次めの訪客客車」を含む観光振興の予算が大きくとられているが、規模の拡大で町内経済の強い活性化につなげることが目的である。それは「魅力的な観光先」に「魅力ある観光地整備」に「楽しさの発信」「町内の周遊」などのPR、GoToなど国、県の支援事業に対する「事務支援」「PR」の受け入れ対応など、多方面に強い連携が観光協会に求められる。変化の大きなコロナ禍にあって予算に相乗効果を生むには、平時と同じこのネットワークではなく、観光行政と民間団体には一体感を持ったブレない観光戦略が必要である。

ここに注目!

観光施設維持整備事業として町内キャンプ場の整備は
産業



五浦議員

コロナ禍の影響により、屋外レジャーとしてキャンプを楽しむ利用者の増加に対応しているか

立場町キャンプ場の利用状況は、各場でも人気があると思われるが、施設としては、利用者の要望にこたえられているか確認をしなければならぬ。施設と設備は2年ほど、4,177人が利用していた。施設の規模としての利用人数はほぼ満足しており、今後に向けての拡充はなくても対応できると考えている。

ここに注目!

7つのウターン施策の内、この3つに注目
総務



五浦議員

中小企業後継者育成支援事業120万円、
Uターン者雇用促進補助金300万円、
新規就農者支援事業補助金120万円

議員になって初めての一般質問で職人や技術者の後継者不足の現状を質問した記憶があります。精密加工技術において世界に通じる技術をもつ技術者、継がて手前を惜しまない匠の技を持つ職人さん、高齢化が深刻でやっとの思いで田舎の車列や草取りをしながら農地を守り込んでいるお百姓さん等の多くは収入をあげられています。このような事業で支援や補助金が活用されれば「一人でも多く」「一つでも多く」の技術や匠の技が継承されることも評価します。又追加の予算要求がこれほど多量に拡大していくことを願っています。

どう使う?

「町民からの声」が新予算に反映されているのか?
のべ12.5時間、11課・局、町民を代表した197の質問

私たちのお金

常任委員会の所属に限定することなく執行部からの説明を受け、予算案全般について徹底的に議論しました。増えた予算目標に、減った予算についても厳しい質問も。コロナ禍、町民の福祉向上に繋がる予算でも、審査検証しました。

ここに注目!

未満児保育… ニーズには応えます
子ども



名取議員

保育園は特に未満児が滞核と聞いている抜本的な対策を打つべきではないか

確かに0歳児1歳児については公立保育園だけでは受け入れが困難な状況で、町内の民間の認可外保育園に受け入れをお願いし、待機児童ゼロを維持している。一方少子化が進んでいるため、保育園の保育スペースを拡大することは必ずしも、来年度は町内のNPO法人と協力し、令和4年度から新たに家庭型保育事業の事業改正を検討している。町が認可する事業で、定員5名をくわすので、家庭的な雰囲気の中で3歳未満のお子さんの保育を行う事業である。これで子育て世代のニーズには十分応えていけることが出来る。

ここに注目!

藤元遺跡、井戸尻遺跡群の国史跡指定に向けて
生涯学習



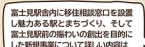
川島議員

町内に広がる縄文時代の史跡は、町の財産であり、町の魅力としてアピールできる

藤元遺跡は、これまでほとんど地形を改変されてきたことなど保存されてきた。新年度予算の文化財保護費の中で、土地1822平方メートルの取得費364万円を計上した。公有化して保全する。そのほか土地整備の申請もある。公開の全体面積は約25000平方メートル、井戸尻遺跡群の中では最大規模である。しかし、ほとんどが未調査のままである。国史跡に指定できれば、土地取得費の80%補助が受けられるという説明があった。新年度は資料遺跡の発掘調査も予定されている。遺跡保全は魅力的にも、計画的な発掘調査を進める予算確保が必要である。

ここに注目!

移住、定住促進事業について
総務



藤田議員

富士見駅舎内に移住相談窓口を設置し魅力ある駅とまちづくり、そして富士見駅前の賑わいの創出を目的とした新規事業について詳しい内容は

令和3年度一般計審査過程で新年度の新規移住定住推進事業の中で移住相談窓口の設置についての詳しい内容を認めた。また人員体制は相談員2名と地域おこし協力隊1人の3人体制である。営業時間は当面は会場と同一時間8時半から夕方5時15分までスタート予定。また、月曜日から金曜日まで営業し土日は休日と祭日も休みとなるが、仕事で移住相談は休日を利用して相談所を訪れる人もいるので検討が必要である。6月から7月には開所したいという。将来的には結婚相談所を土日に開設、観光案内所まで拡大した運用も模索する。

ここに注目!

新規予算300万円、夢を形に大きく育てる
総務



島田議員

町内の街づくりグループが定期的に集い、どこにも負けない新れなまちづくりを考えている。それを後押しする

生まれては消え去る生まれる。これまで町内有志に依る街づくりグループが繰り返し誕生した。しかし、そのグループの提案が十分に行政の街づくり政策には生かされてこなかった恨みがある。これではいけない。もっとも町民の真実な声を生かした街づくりの必要性が強い。10年度であるが、新規予算300万円が計上された。そして1年度を支援したいという。近い将来、ここから来たどの町民も手掛けないというユニークな街づくり計画が誕生する。それを期待したい。生きた予算の刷新をした町長に大きい拍手を送りたい。